

(7) 2012.11 ふじさと

「記録達成を新たなスタートとして、これからも交通安全ことや交通反の無い町づくりに取り組んでいきたい。」
 というお話を聞いて、わたしはこれからも交通ルールを守って安全に気をつけていこうと思えました。大人も子どもも一人一人が同じ気持ちで取り組めば、事はおこりません。

町長さんの
 「記録達成を新たなスタートとして、これからも交通安全ことや交通反の無い町づくりに取り組んでいきたい。」
 というお話を聞いて、わたしはこれからも交通ルールを守って安全に気をつけていこうと思えました。大人も子どもも一人一人が同じ気持ちで取り組めば、事はおこりません。

達と手をつなぎ、参加してきました。去年からはこてき隊としてけんぼんハーモニカをえんそうしながら参加しています。わたしはこてき隊のフラッグにあこがれているので、六年生になったらはりきってやりたいと思っています。
 それから、交通指どう隊の活動も秋田県で一番活発だということも、この時初めて知りました。朝の登校時間にはわたし達が安全に道路をわたれるようにしてくれたり、夕方には、パトカーに乗って安全のよびかけをしながら町内を回ってくれたりしています。歩行者天国の時は、車が入ってこないようにずっと立って案内をしてくれました。わたしが歩いて行くと、「行ってらっしゃい。楽しんでおいで。」と声をかけてくれました。とってもうれしかったです。
 わたしの知らないところでもたくさん活動をして、みんながあぶないめにあわないよう見守ってくれているんだなと思いました。

『やったね四千日』



三谷なごみさん

これからは、藤里町のほこりを大切に守っていかねばならないと思いました。

二ツ井からふじ里に帰ってくると、矢さかの道路のわきに数字のけいじばんが見えます。わたしはいつからか、その数字が変わっていることに気がきました。車の中でねていない時は、見るたびに何だろうと思っていました。

数日前、お父さんとお母さんがけいじばんの前を通りすぎた時、「おーっ、もうすぐ四千日かー。」と言いました。わたしが「何が四千日なの？」と聞くと、「交通指どう事このない日があるすぐ四千日になるところなんだよ。」とお父さんが教えてくれました。わたしはよく分からなくて「四千日ってどれくらい。」と聞きました。お母さんが「一年は三百六十五日だから、やく十一年くらいかなあ。」と教えてくれました。

「え、十一年？」とわたしはびっくりしました。なぜならわたしは今八さいなので、わたしが生まれる前からずっと、交通安全こでなくなつた人がいないということになるからです。ニュースでは毎日のように、交通事故で人がなくなつた事をつたえています。お年よりや小さい子ども、家族全員がなくなつた事などもかたしなしいニュースばかりです。でもふじ里町では十一年近くもそんなかなしい事がおこっていない

という事を、わたしはその時はじめて知りました。

そして八月七日、とうとう四千日になつて、町長さんがけいさつの人から表しようされたということをお父さんから聞ききました。わたしは心の中で「やったー。」とさけびました。すごいことだと思いました。車やバイクや自てん車をうんてんする人も、歩いたり走ったりしている人も、みんなが交通ルールをまもつて安全に気をつけているのだということが分かりました。

ふじ里町の大人も子どももえらいと思います。そしてわたしが大人になつて車をうんてんする時まで、ずっとつづいていたらいいと思います。

「めざせ、八千日」です。その時わたしは十九さいです。きっと、車をうんてんしていると思います。その時は、今のふじ里町の大人のように交通ルールをまもつて、安全うんてんに気をつけていこうと思います。



赤石龍星さん



淡路うららさん



山田優来さん



淡路萌生さん

